公募参考資料②
計画案の補足資料

■スポーツ・健康関連産業クラスターを通じた目指す方向性

稼ぐ力の強化

スポーツ・健康市場の成長を取り込み、スポーツ、健康、ものづくり、デジタル、観光等の異業種連携による新商品・サービス開発や新市場創出を促進し、将来の成長投資につながる競争力の源泉を確保していくことが重要

基盤整備

スポーツ・健康関連産業を支える専門人材やデジタル人材の育成・確保、産学官金の連携強化等を進め、持続可能な産業クラスターを形成することが重要

地域課題解決

人口減少・高齢化が進展する中、健康寿命の延伸や県民のWell-being向上に向けて、スポーツ・健康関連資源を活用した実証やサービス開発により、地域課題の解決を図ることが重要

稼ぐ力の強化（イノベーション創出）

新商品・サービス創出と社会実装
- 大学・研究機関との共同研究
- 実証成果の社会実装

新市場・新事業領域の開拓
- スポーツ×ものづくり
- スポーツ×デジタル
- スポーツ×観光
- ヘルスケアサービスの展開　など

収益拡大
投資促進
課題解決

地域課題解決（実証フィールド形成）

地域課題解決型実証の推進
- 健康寿命の延伸
- フレイル・介護予防
- 働く世代の健康づくり

健康づくり環境の整備
- 健康経営の推進
- スポーツ実施率の向上
- 地域住民のWell-being向上

地域実証フィールドの形成
- 医療・福祉・大学等との連携
- 健康データの活用
- 官民連携による実証環境整備　など

基盤整備（人材育成をはじめとした持続可能な産業基盤形成）

スポーツ・健康関連人材の育成
- 大学等と産業界が連携した専門教育プログラムの構築
- リスキリングの推進

デジタル人材の育成・基盤整備
- 健康データ利活用を支えるデジタル人材育成
- 実証・事業化を支えるインフラ整備

産学官金連携の強化
- オープンイノベーションの推進
- 企業間ネットワークの形成

産業創出を通じて地域課題解決を図る
新潟発の実証・事業化モデルを構築